n=50,299

初期データセット: 全検査オーダー

【母集団の性質】
・病院
・検体検査
・院内検査機器による測定
・特定機能病院の届出
・検体検査管理加算の届出

プロセス1:「病院における一般的な検査」の定義による絞り込み

【「病院における一般的な検査」の定義】
・医療機関の属性
　・特別または高度な医療機能の影響を受けない
　・病床規模の影響を受けない
・患者の属性
　・患者が当月中に死亡していない
　・患者が免疫低下状態、特別な管理状況下にない
・受診の属性
　・診療時間内の実施である
・検査の属性
　・母数の多い検体（採血・採尿）である

1-1. 医療機関の属性による絞り込み

高度な医療機能の影響を除外する: 外来診療に限定

【除外根拠】
入院の検査では、特定機能病院という医療機能に基づいて基本的検体検査実施料を算定するため

病床規模の影響を除外する: 初診に限定

【除外根拠】
200床以上の医療機関では、再診時に再診料に代えて外来診療料を算定しており、病床数に由来する外来診療料の特殊な算定ルールの影響を避けるため

1-2. 患者の属性による絞り込み

当月に死亡していない患者に限定

【除外根拠】
通常の診療プロセスとは異なる特殊な診療を実施している可能性があるため

免疫低下状態や特別な管理状況下にない患者に限定

【除外根拠】
免疫抑制剤、抗がん剤、臓器移植後の患者は、特定薬剤治療管理料の対象となり、標準的な算定ルールからはずれるため

1-3. 受診の属性による絞り込み

診療時間内の受診に限定

【除外根拠】
診療時間外は日当直員のみの体制であり、受け入れ患者の緊急度が時間内に比して高くなり得る。また、緊急院内検査加算をはじめとする特殊な加算が発生するため

1-4. 検査の属性による絞り込み

母数の多い検体による検査に限定

【除外根拠】生検等では特殊な体制や専門性を要し、比較的高度な医療体制に基づくものであるため

n=1,438

プロセス2:正解データを作成できる症例およびLLMの制約による絞り込み

【正解データを作成できる症例】
・包括が発生しない
・管理料による検査実施料の算定がない
・検査結果の陽性・陰性による算定ルールがない
・算定における整合性の考慮が必要ない

【LLMの制約】
・トークン量上限に抵触しない

2-1. 包括規定による絞り込み

外来診療に限定

【除外根拠】
特定機能病院の入院検査で算定される基本的検体検査実施料は、多くの検査項目を包括するため

初診に限定

【除外根拠】
200床以上の医療機関の再診で算定する外来診療料は、一部の検査項目を包括するため

小児科を除外

【除外根拠】
小児科の外来診療で算定される小児科外来診療料や小児かかりつけ診療料は、多くの検査項目を包括するため

2-2. 管理料の算定による絞り込み

悪性腫瘍を主病とする患者に対する腫瘍マーカーの実施がない症例に限定

【除外根拠】
特殊な算定要件があり、検証に適さないため

薬物血中濃度を測定する検査項目を除外

【除外根拠】
特殊な算定要件があり、検証に適さないため

2-3. 陽性・陰性による絞り込み

陽性または基準値を超える検査結果に対する追加検査を除外

【除外根拠】
薬剤感受性検査等は特殊な算定要件があり、検証に適さないため

2-4. 整合性の考慮による絞り込み

同月2回目以降の検査実施を除外

【除外根拠】判断料の算定要件や検査逓減の考慮が必要となり、複雑化するため

同日複数科の受診を除外

【除外根拠】診療科を横断した算定の考慮が必要となり、複雑化するため

n=1,246

2-5. 生成AIの制約による絞り込み

項目数が60項目以内である症例に限定

【除外根拠】生成AIの出力トークン量の上限に抵触する頻度を抑えるため

必要な算定ルールが、生成AIへの入力トークン量の上限に収まる症例に限定

【除外根拠】生成AIの入力トークン量の上限に抵触するため

n=3

最終データセット

・「一般的な検査」と定義される検査オーダー
・多くの病院で実施可能
・正解データが作成可能
・生成AIの制約に抵触しない・しにくい

フロー左側・緑色の枠組みは、「病院における一般的な検査」の定義に合致する症例への絞り込みのプロセスを示している。